

国際会議参加報告（クリタ賞国際会議発表助成受賞者）

2024年8月11日～15日に、トロント（カナダ）で The IWA World Water Congress & Exhibition 2024 が開催されました。平成28年度から始まった年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成）を受けて、佐野航士氏（北海道大学大学院）が参加され研究発表を行いました。

IWA World Water Congress & Exhibition 2024 に参加して

北海道大学大学院工学院 佐野航士

この度は、日本水環境学会年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成）を賜り、誠にありがとうございました。選考にご尽力いただいた関係者の皆様に、深く御礼申し上げます。私は本助成を受け、8月11日から15日にかけてトロントのメトロ・トロント・コンベンションセンターで開催された IWA World Water Congress & Exhibition 2024 (WWCE2024) に参加いたしました。本会議は2年に一度開催されるもので、IWA が主催する水環境分野における世界最大の国際会議です。今回は“Shaping Our Water Future”をテーマに、世界各国から7000人以上の参加者が集まり、大変賑わっておりました。

私は8月12日、“Protection of Surface Water Quality and Quantity”セッションにて、“Assessment of $\text{PO}_4\text{-P}$ Release with a Novel Passive Sampler at the Sediment-Water Interface in a Shallow Eutrophic Lake”というタイトルで口頭発表を行いました（図1）。本研究では、富栄養化した湖沼底泥におけるリン酸態リン（ $\text{PO}_4\text{-P}$ ）のフラックスを定量するための、新たなパッシブサンプラーを開発いたしました。発表後、多くの参加者が私の研究に関心を示してくださり、非常に有意義な議論を交わすことができました。また、多数のセッションに参加し、湖沼における富栄養化管理の最新トレンドを知ることができたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。

とくに、各国の研究者が直面している課題や独自の取り組みを直接聞く機会を得たことで、自身の研究をより広い視野で捉えることができました。具体的な管理手法や政策動向、技術革新に関する議論を通して得られた知見は、今後の研究計画を立てる際の重要な指針となり、新たなアイデアの着想や研究の方向性を見出す上で大きな助けとなりました。

また、本会議を通して Young Water Professionals (YWP) の交流会（図2）に参加し、同世代の研究者と交流を深めました。お互いの研究テーマや日常生活について語り合うことで、非常に楽しく有意義な時間を過ごすことができました。現地で知り合った友人のうち2人とは、来年以降に日本で再会する約束を交わし、今後も継続する友好関係を築くことができました。

本会議は、私にとって初めての国際学会であり、多くの研究発表に触れ、世界中の研究者と交流することで、日本では得られない大変貴重な経験をさせていただきました。最後に、本研究の遂行にあたり、終始ご指導いただきました北海道大学大学院工学研究院の木村克輝教授、羽深昭助教、茨戸湖でのサンプリングにご協力いただきました北海道大学工学系技術センターの大熊達也様、望月拓也様、そして多方面でご支援いただいた水再生工学研究室の皆様、心より感謝申し上げます。



図1 筆者の発表の様子



図2 YWPの交流会の様子